

令和4年3月16日（水曜日）

予算決算委員会建設分科会

議会会議室

出席議員

汐田浩二、蔭山敏明、宮下和也、重田一政、  
萩原唯典、梅木百樹、松岡廣幸、今里朱美

【建設委員会（都市局）の審査】

開会

10時59分

都市局

10時59分

送付議案説明

- ・議案第 1 号 令和4年度姫路市一般会計予算
- ・議案第 10 号 令和4年度姫路市都市開発整備事業  
会計予算
- ・議案第 13 号 令和3年度姫路市一般会計補正予算  
(第12回)

質疑

11時16分

(質問)

土地区画整理費については、毎年度、繰越明許費補正が計上されているが、各区画整理事業の進捗状況を説明してもらいたい。

(答弁)

進捗率は、JR網干駅前地区が繰越し分も含めて64.4%、阿保地区が同じく繰越し分も含めて81%、英賀保駅周辺地区が64.4%、姫路駅南西地区が79.5%、姫路駅周辺地区が95%である。

(質問)

お城本町地区市街地再開発事業費、約1億5,000万円の内訳はどのようになっているのか。

(答弁)

イーグレひめじの大規模改修費用が約3,630万円、イーグレひめじの管理費が約3,500万円、再開発住宅である北条北住宅の管理費が約660万円、同住宅の改修費用が約7,200万円である。

(質問)

令和4年3月のダイヤ改正で、播但線と姫新線が減便された。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛の影響で乗客が減少したとはいえ、播但線は通勤・通学の時間帯には満員となっているし、姫新線は

コロナ禍以前は乗客の増加が続いていた。

新型コロナウイルス感染症が収束した後には増便してもらえるよう、他市町とともにJRへ要望する予定はあるのか。

(答弁)

姫新線については、余部駅から向こうが最も影響があり、播但線については、姫路・福崎間はむしろ昨年増便となっている。

姫路市に関しては、JRと良好な関係が続いており、減便されることもなく、新駅の整備や委託協定を締結した山陽本線英賀保駅自由通路整備工事事も遅れることなく進められている。

他の沿線自治体と連携して鉄道の利用促進等を行っているため、本市も他市町とともにJRに対してコロナ収束後、便数を元に戻してもらいたい旨を要望しているものの、本市にとってマイナスとならないようにしたいと考えている。

(要望)

交通渋滞解消のためにも、脱炭素社会の実現のためにも、公共交通をしっかりと維持し、利用促進を図らなければならない。市民が積極的に公共交通を利用するよう、環境への負荷の少ない移動手段であるとアピールしながら意識啓発に努めてもらいたい。

(質問)

公共交通の利用促進には、駅周辺の駐輪場整備も重要である。駐輪場の整備については、どのように考えているのか。

(答弁)

令和4年3月、太市駅周辺整備事業に伴う駐輪場整備が完了し、令和4年度には、亀山駅に新たに駐輪場を整備する予定である。

また、鉄道駅だけではなくバス停の近くにも駐輪場を設けたり、道路部局と協議しながら歩道に自転車のラックを設置するなど、様々な取組を進めていきたい。

(質問)

空き家対策事業費については、議案第1号、令和4年度姫路市一般会計予算だけではなく、議案第13号、令和3年度姫路市一般会計補正予算（第12回）にも計上されており、国の追加内示に伴う老朽危険空き家対策事業費補助金を受け、令和4年度に予定していた事業の一部を前倒しして執行するべく予算措置を行

うとともに、その大部分を繰越明許費補正しようとしている。

姫路市老朽危険空家対策補助金に対する市民の関心は年々高まってきているが、令和4年度はどれぐらいの申請があると見込んでいるのか。

(答弁)

補助対象者として地域の自治会が10件、老朽危険空き家の所有者等が50件と見込んで予算を計上している。

(要望)

姫路市老朽危険空家対策補助金については、令和3年度は早々に予算の上限に達し、申請受付を終了せざるを得なかったことから、国庫補助を十分に活用するなどできるだけ申請を受理できるように対応してもらいたい。

(質問)

大阪の北新地ビル放火殺人事件では、25人もの人が亡くなった。死因は一酸化炭素中毒とのことである。

宝塚市役所放火事件では、職員が排煙窓を開けて煙を排気したため死者が出なかったように、排煙窓の設置は重要であり、建築基準法では排煙設備の設置基準が定められているものの、法改正以前に建った建物には遡及して適用されていない。しかし、消防法の中には、火災報知機やスプリンクラーの設置等、遡及して適用されるものもある。

本市には、北新地のビルと同じく1方向にしか避難できない建物が168棟あり、排煙窓のない建物も多くあると思われるが、法を遡及して適用させるなどして排煙窓を設置させることはできないのか。

(答弁)

既に建っている建物のうち、法改正により現在の法律に適合しなくなった既存不適格建築物をそのまま継続利用することに問題はなく、遡及適用はできない。できるだけ現行基準に合致させるように指導しているが、強制力はない。

(要望)

北新地の放火殺人事件を受け、総務省消防庁や国土交通省等による防火・避難対策等に関する検討会議が開催されている。同検討会議の報告書が公表されれば、本市もそれに合わせてしっかりと対応してもらいたい。

(質問)

令和4年度姫路市都市開発整備事業会計予算について、土地売却業務のうち、一般土地事業が広畑区才の21平方メートル、えい地貸付が名古屋山霊苑他の380平方メートルとある。

土地売却収益として、広畑区才土地有償所管換・えい地貸付9,588万円が計上されているが、広畑区才はどのような土地で幾らぐらいなのか。

(答弁)

令和4年度に広畑区才で新たに姫路市道を設置する予定であるが、市道にかかる都市開発事業会計所有の土地21平方メートルを有償所管替えるものである。

予算には、1平方メートル当たり8万8,000円、21平方メートルで180万円を計上している。

えい地貸付については、名古屋山霊苑60区画、姫路西霊苑30区画、片山霊園20区画を合わせて9,400万円程度の収入を見込んでいる。

(質問)

霊苑ごとの金額はどれぐらいなのか。

(答弁)

予算上、1平方メートル当たり名古屋山霊苑が30万円、姫路西霊苑が25万円、片山霊園が12万6,000円と想定して計上している。えい地永代使用料は条例で定められている。

(要望)

約9,500万円の収入を見込んでいても、墓地の返還が増える可能性もある。都市開発整備事業会計が都市局所管のままではよいのかという議論もある。会計の所管等も含めて霊苑事業の今後について考えてもらいたい。

**退職者挨拶**

**11時37分**

**都市局終了**

**11時38分**

**【建設委員会（建設局）の審査】**

**建設局**

**13時14分**

**送付議案説明**

- ・議案第1号 令和4年度姫路市一般会計予算
- ・議案第13号 令和3年度姫路市一般会計補正予算（第12回）

## 質疑

13時40分

(質問)

自転車等売却収入 79 万円は、移動させた放置自転車等のうち、引き取りに来なかったものの売却収入であると思うが、何台分ぐらいを見込んでいるのか。また、売却に当たり、どのように入札等を行っているのか。

(答弁)

自転車、原動機付自転車、使用不可能な金属くずに分けて入札を行い、売り払っている。

自転車と原動機付自転車については 1 台当たり、スクラップについては 1 キログラム当たりで単価契約を結んでいる。

自転車が約 500 台、原動機付自転車が 10～15 台、スクラップが約 1.7 トンと見込み、予算計上している。

(質問)

駐輪場管理運営費約 895 万円の内訳を説明してもらいたい。

(答弁)

市立の駐輪場にかかる光熱水費や修繕費等、野里駅駐輪場借地料、姫路駅高架下駐輪場借地料などである。

(質問)

通学途中に発生した交通事故を受けて、国土交通省が通学路の交通安全確保に向けた個別補助制度を創設しているが、子どもの移動経路安全対策事業費は、当該補助制度を利用するものなのか。

(答弁)

子どもの移動経路安全対策事業は、2～3 年前にできたものであり、国庫補助事業ではない。事業内容は、道路管理部においては、路肩の着色や防護柵の設置等、道路建設部においては、歩道の新設や拡幅、通学路にかかる水路の蓋がけ等である。

(質問)

国は、創設した個別補助制度に対して 500 億円を予算計上するということであるが、姫路市は交付申請しているのか。

(答弁)

交通安全対策補助制度（通学路緊急対策）については、都市計画道路四ツ池線において申請しており、令和 4 年度から活用したいと考えている。

(質問)

県支出金の自然歩道管理委託金 22 万 7,000 円は、近畿自然歩道に兵庫県が整備した公衆トイレの清掃にかかる費用の負担金であると思う。

自然歩道は、整備されてから相当な年月が経過しており、倒木等により一部歩道が著しく荒廃している。歩道周辺には、いつ倒れてもおかしくないような木があるので、安全に通れるよう国や県へ適切に維持管理するよう要望してもらいたいどうか。

(答弁)

近畿自然歩道は、兵庫県が主に既存の道を利用してハイキングコースを設定し、休憩施設等を整備したものである。施設管理は市町で行うことになっているが、老朽化したものが多く、また、倒木が国有林の場合もあることなどから、今後どのようにしていくのか国や県と協議したいと考えている。

2 年前、自然歩道に架かる橋が落ちて通れなくなっていると市に通報があり、市から自然歩道を管理する兵庫県に連絡して、修理してもらったことがある。管理者である県との連絡を密に行いたい。

(要望)

コロナ禍にあつて、山歩きを楽しむ人が増えている。自然歩道は歩きやすく、1 日コースで気軽に楽しめることから人気が高い。一度現地確認の上、荒廃したところは改修等を行うように県へ要望してもらいたい。

(質問)

都市計画道路四ツ池線の建設整備について、進捗状況を説明してもらいたい。

(答弁)

令和 3 年度から具体的な用地交渉を開始したところであり、土地売買契約に至ったのは、権利者数で言うと約 50%、区画数で言うと 23 区画中 11 区画である。取得した用地上の建物等の取壊しまで終わったところはまだ少ない。

(要望)

夢前川右岸線は完成に近づいてきている。四ツ池線の整備も頑張ってもらいたい。

(質問)

公園施設費中、公園整備事業費に下野公園に関する予算措置があるが、令和 4 年度には、どれぐらい事業を進める予定なのか。

(答弁)

令和4年度には、設計委託を予定している。令和5年度以降、用地取得に着手していく。

(質問)

夢前川の桜並木について、基本的に地元が管理しなければならないのは承知しているが、樹木が成長して管理しきれないところがある。川沿いのサイクリングロードの利用者に危険がある場合などは、市で伐採等してもらえるのか。

(答弁)

夢前川の堤防にあるサイクリングロードは市道区間と県道区間があり、一部は姫路城マラソンのコースとなっていることから、毎年、舗装を点検し損傷部分を補修している。

植樹から40～50年が経過し大木になっているため、地元自治会等の意見を受けて、河川管理者である兵庫県と協議しながら適宜対応していきたい。

(要望)

桜の木を間引くとなると車両や重機が必要になり、地元だけでは対応しきれないところがある。地元自治会から相談があれば、ぜひとも協力してもらいたい。

(質問)

道路関係所管の予算について、歳入が4億8,000万円余りの減、歳出が2億8,000万円余りの減となっている。前年度予算額から大きく減少しているのは国庫支出金と市債であり、国庫支出金が2億1,000万円余り、市債が3億5,000万円余りの減である。

国庫補助を受けられるかどうかは、実施する事業の内容によると思うが、どのような理由から国庫支出金が減少しているのか。有利な財源を活用できなかったのか。

(答弁)

国庫支出金が減少した要因は、主に、都市計画道路広畑幹線ほか1路線橋梁下部(その1)工事にある。

令和3年度は2本の橋脚工事を予算計上していたが、令和4年度は1本であり、都市計画費については前年度から約4億3,100万円の減、国庫補助は事業費のおおむね2分の1であることから、国庫支出金は約2億1,000万円の減となっている。

国庫補助には様々な支援メニューがあり、活用できるものは活用し、十分に執行できるように努めている。

(質問)

ここ2年ほど、国庫支出金が減少しているのは偶然ということなのか。大きな工事があれば国庫補助が増額し、なければ減額するという理解でよいのか。

(答弁)

事業内容による。

(要望)

財源をしっかりと確保するように努めてもらいたい。

(質問)

公園管理費中の報酬給与費について、一般職については63人分という説明があったが、令和3年度は55人分であった。予算額も8,000万円ほど増えているが、なぜ増員される予定なのか。

(答弁)

報酬給与費については、人事課が割り振ったものであり、どこの部署がどのようになるのかは把握していない。建設局としては、新規事業等による増員の要望はしていない。

(質問)

新規事業ではないのなら、機構の変更によるものなのか。

(答弁)

現在、他部署で管理している公園関係の施設が公園部に移管される可能性はあると思うが、具体的な話は聞いていない。

(要望)

報酬給与費は、人事課が予算計上しているとしても、当局としても、増減の理由を把握しておいてもらいたい。

(質問)

スポーツ広場公園整備事業費は、令和3年度よりも若干増額している。スポーツ広場公園は、地域からの要望に基づき市が整備し、自治会等が管理する公園に類する機能を持つものであるが、設置の要望を受けてから整備までにどれぐらいの期間を要するのか。

(答弁)

同公園は、土地の所有者から空閑地の提供を受けて整備するため、まずは、使用貸借契約を結ぶ必要がある。その後、設計や施工に着手することから、公園の規模によって整備に要する期間は異なるものの、要望

書の提出からおおむね 1 年以内での事業化を目指している。

(要望)

地域に身近なスポーツ広場公園の整備については、地元住民の期待も大きいことから、できるだけ早期に着手して整備を終えることができるように努めてもらいたい。

(質問)

不当要求議員が関わる事業の真相を究明する特別委員会において議論された、白浜市場線東ルート of 整備や糸引小学校線道路改良事業等に関する令和 4 年度予算について説明してもらいたい。

(答弁)

白浜市場線東ルート of 整備については、計画中止となったため予算は計上していない。

糸引公園整備事業については、予定どおり進めるが、糸引小学校線道路改良事業については、当初計画よりも縮小する方向で国と調整を進めているところである。一般路線新設改良事業費中に糸引小学校線として予算措置されたものに工事費はなく、委託費のみである。

(質問)

特別委員会で議論された事業の進捗状況については、今後も本委員会で報告してもらえるのか。

(答弁)

浜手緑地・白浜地区西ゾーンの整備や栗生の松原公園トイレの案内表示など、特別委員会で指摘を受けたがまだ協議中で対応できていない案件については、別途報告する予定である。

<b>退職者挨拶</b>	<b>14時10分</b>
<b>建設局終了</b>	<b>14時13分</b>
<b>散会</b>	<b>14時13分</b>